令和６年度

社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告書

令和６年度の矢巾町社会福祉協議会は、第２期矢巾町地域福祉活動計画に基づき、行政や専門機関、地域住民、福祉団体、ボランティアなど、地域に関わるすべての人々が協働で互いに支え合う活動を推進し、矢巾町が目指す「やさしさと思いやりに満ちた福祉のまちづくり」に向けて活動を展開しました。

町が実施する重層的支援体制整備事業の 3 つの柱である属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を共に展開し、社会福祉協議会の機能を発揮しながら住民のあらゆる課題に対応しました。

窓口や電話、ホームページ、公式 LINE、福祉団体の活動、「地域の居場所」訪問などで寄せられる困りごとや相談は、どのような内容であっても受け止め、生活困窮者自立支援事業（県社会福祉協議会）やたすけあい金庫貸付事業といった支援や、各種関係機関へのつなぎを行い、課題解決に努めました。フードパントリーやフードドライブ＆サニタリードライブ事業やイベント開催時など、公式 LINE の登録を促して住民が相談しやすい環境整備も行いました。

コロナ禍後の多様な社会参加や介護予防の形が求められる中、生活支援コーディネーター（以下「SC」という。）を中心に、こびりっこサロンなど「地域の居場所」の結成や、フリースペースなど地域の公民館以外で行われる居場所も推進しました。また、地域の情報収集に努め、住民の課題や希望に応じた居場所や福祉サービス、趣味活動などにつなげることで、高齢者が地域で自分らしい生活を送ることができるよう活動しました。

さらに、コミュニティや地域の居場所、老人クラブなどを主体とした「支え合いマップ」の作成を通じ、住民が地域の課題について知り、考え、共有する機会を設けて、支援の必要な高齢者等の日常生活を地域で支え合う仕組みづくりを推進しました。また、ボランティア交流会や養成講座の開催など、支え合い活動を行う担い手の確保や活動支援を行いました。

令和 6 年度は第 2 期地域福祉活動計画が最終年度であったことから、振り返りを行うとともに、誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、「こんなやさしいまちが好き～YAHABA しゃべり場～」の開催などを通じて、住民と共に「第３期地域福祉活動計画」（令和 7～10 年度）を策定しました。

基本目標１　福祉ニーズと地域課題の把握

SC を中心に地域の課題と資源の把握に努め、解決に向け住民が自分の住む地域について考えるきっかけづくり、課題と資源のマッチングなどを行いました。

また、児童館の指定管理や居宅介護支援事業所の運営などを行い、地域に必要な福祉サービスの提供を図るとともに、日頃から地域住民との関係づくりに努め、日常の業務の中からも情報の把握を行いました。

さらに、複雑化、複合化、潜在化している生活課題を整理し解決につなげられるように、民生児童委員協議会等関係機関と連携しながら各種相談事業を実施するとともに、住民が SOS を出しやすい環境を整えました。

１　地域福祉活動による課題と資源の把握

（1）　生活支援体制整備事業（第１層生活支援コーディネーター）

（2）　重層的支援体制整備事業との連携

①　属性を問わない相談支援（ふくし相談窓口）

ア　相談対応延べ件数　　222 件

イ　主な支援の内容

社会福祉協議会のサービス等紹介（公式LINE登録、法人ネットワークによるライフライン等の支援等）、関係機関窓口・サービス・施設の紹介、町の事業紹介、独居高齢者・高齢者世帯見守りに関する連絡調整、物資の提供、食料支援、雇用保険受給等制度の紹介、対象者の勤め先との連絡調整、関係機関へのケース対応照会・連絡調整、携帯電話プラン変更同行支援、家計改善相談支援、たすけあい金庫の貸し付け、生活福祉資金の貸付、傾聴

ウ　主な関係機関・団体へのつなぎ

単位老人クラブ、日常生活たすけあい隊、矢巾町担当課（福祉課、税務課、上下水道課等）、暮らしの専門相談所、矢巾町地域包括支援センター、岩手県社会福祉協議会、他市町村社会福祉協議会、法テラス岩手、障害者地域生活支援センターしんせい、盛岡広域振興局、岩手県司法書士会、ハローワーク、福祉総合相談センター、一般企業、町内農家、町内社会福祉法人、障がい者職業センター、盛岡ユースポート、民生児童委員

②　参加支援

コミュニティソーシャルワーカー3 名が町主催の地域の居場所「フリースペース」

に従事（年 36 回）し、町相談員、NPO 法人もりおかユースポート相談員と情報共有を行いながら、ひきこもり等の「狭間のニーズ」を抱えた方の居場所づくりや、ニーズのマッチングを行いました。

③ 地域づくりに向けた支援

生活支援体制整備事業

④ 重層的支援会議への参加

ア　矢巾町個別支援会議　年 12 回

イ　矢巾町重層的支援体制整備事業推進会議　年 2 回

(3)　福祉団体事務と主な連携事業

① 矢巾町老人クラブ連合会

ア　スポーツ事業

開催日	事　業　名	参加者
6 月 24 日	夏のいきいきウォーキング	25 名
7 月 16 日	グラウンド・ゴルフ大会	13 名
9 月 20 日	矢巾町生きいきシルバースポーツ交流会	232 名
10 月 1 日	赤い羽根チャリティーゲートボール大会	14 名
10 月 9 日	岩手紫波地区老人スポーツ大会（優勝）	32 名
10 月 16 日	町老連マレットゴルフ交流大会	24 名
11 月 1 日	秋のいきいきウォーキング	26 名
11 月 19 日	矢巾町老人クラブ輪投げ大会	139 名
12 月 12 日	ニュースポーツ交流会	23 名

イ　生きいき教室事業（らくらくシニアスマホ教室）

高齢者の社会参加意欲を高め、健康で生きがいのある生活を送ることができるように、60 歳以上の方を対象とした生きいき教室事業を行いました。

期　日　令和 7 年 1 月 24 日、1 月 31 日

講　師　岩手医大学生ボランティア、社会福祉協議会職員

参加者　6 名、9 名

② 矢巾町母子寡婦福祉協会

ア　コミュニティ食堂（ここかむ食堂）の開催

矢巾町母子寡婦福祉協会会員有志が中心となり、地域の賛同者や一般・学生ボランティア、企業等の協力を得ながら、大人から子どもまで誰もが集い、温かい雰囲気で食事等を楽しむコミュニティ型の居場所としてここかむ食堂を開催しました。昼ここかむ食堂は会食、夜ここかむ食堂は、お弁当の配布を行いました。

・ 開催日　昼ここかむ食堂（毎月第3日曜日）年11回
　　夜ここかむ食堂（毎月第2・第4金曜日）年20回
・ 延べ人数　ボランティア225名、親子375組

イ　児童館ここかむ食堂

・ 煙山児童館　令和6年6月1日　児童19名　大人9名
・ 徳田児童館　令和6年12月7日　児童12名　大人6名
・ 不動児童館　令和7年3月1日　児童10名　大人11名

ウ　親と子のつどい

町内ひとり親家庭を対象に、親子の触れ合いの機会を持ってもらうことを目的に開催しました。

期　日　令和6年8月4日、令和7年1月19日
参加者　親子7組18名、親子7組15名
場　所　ワタミオーガニックランド（陸前高田市）、初駒本店（盛岡市）他

③矢巾町身体障害者協議会

ア　身体障害者協議会・老人クラブ連合会ニュースポーツ交流会

イ　矢巾町主催パラスポーツイベントへの参加

期　日　令和6年9月14日
場　所　矢巾町民総合体育館
参加者　3名

ウ　岩手県身体障がい者福祉大会への参加

エ　岩手紫波地区身体障がい者スポーツ交流会への参加

④矢巾町手をつなぐ親の会

知的障がい者ふれあい交流事業（なかよし号）の開催
期　日　令和6年10月19日
場　所　となんつどいの森
参加者　12名

⑤ 矢巾町保護司会、矢巾町更生保護女性の会

犯罪をなくし、明るく住みよい社会をつくるため、矢巾町保護司会、矢巾町更生保護女性の会等と協力し活動を展開しました。7 月の社会を明るくする運動強化月間では、矢幅駅の風鈴吊るし、夏まつりでの社明啓発活動等を協力して行いました。矢巾町更生保護女性の会は、会員が育てた野菜等を持ち寄り販売する「エキナカ産直」を開催し、売上金の一部はフードパントリー事業への寄付（日用品）や能登半島地震の義援金として活用しました。また、コロナ禍で休止としていた町内中学校と不来方高校茶道部とのひまわりサロン（お抹茶サロン）を 4 年ぶりに再会しました。

ア　第 74 回社会を明るくする運動

期　日　令和 6 年 6 月 26 日

参加者　保護司 3 名　矢巾町更生保護女性の会 6 名

内　容　JR 矢幅駅ホームに啓発短冊付風鈴の飾りつけ

イ　朝のあいさつ運動

町内学校等　令和 6 年 7 月 1 日

矢巾中学校、矢巾北中学校　令和 6 年 7 月 19 日、8 月 31 日、9 月 27 日

ウ　学校訪問

町内小中学校　令和 6 年 6 月 18 日、6 月 19 日、6 月 25 日

エ　少年非行防止等パトロール（矢巾っこすくすくネットワーク）

令和 6 年 7 月 24 日、7 月 30 日、8 月 9 日、12 月 17 日、12 月 20 日、令和 7 年 1 月 10 日、3 月 13 日、3 月 26 日

オ　更生保護女性の会ひまわりサロン（お抹茶サロン）

中学生延べ 120 名　不来方高校（茶道部）14 名　更生保護女性の会会員 7 名

⑥ 矢巾町遺族連合会

矢巾町戦没者追悼式及び矢巾町平和の集い

期　日　令和 6 年 9 月 14 日

場　所　田園ホール

参加者　約 100 名（会員、関係者、一般町民）

⑦ 矢巾町ともしび会（民生児童委員 OB 会）

会員研修

期　日　令和 6 年 10 月 18 日

場　所　気仙沼市大島（シャークミュージアム、大島ウェルカムターミナル）

参加者　19 名

⑧ 傾聴ボランティアやはば「柚子の会」

毎月の定例会で行う研修や事例研究、施設や一人暮らし高齢者の集いでの傾聴活動の他、新たに矢巾町保健福祉交流センター内の「おでんせハウス」において、傾聴を中心とした居場所「おしゃべりの部屋」を開催しました。

ア　ゆり花の集い　10 回（活動延べ人数 20 名）

イ　「おしゃべりの部屋 おでんせにおでんせ」の開催　9 回（参加者数 14 名）

⑨ やはば生活支援ネットワーク事業推進協議会（以下「生活支援 NW」）

社会福祉協議会を含む町内の社会福祉法人及び医療法人の 10 法人が参画している協議会。日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方を支援するため、地域における公益的な取り組みを協働で実施しました。

ア　ネットワーク会員

・ 社会福祉法人：敬愛会、新生会、爽生会、睦喜会、矢巾親和会、土淵朗親会、いちご会、吉祥会、矢巾町社会福祉協議会

・ 医療法人社団帰厚堂

イ　日常生活支援（おつかいサービス）

月に一度、各法人の車両を利用して、町内の高齢者、障がい者等の日常生活必需品や食料品の買い物のための送迎サービスを実施しました。

・ 利用登録者数　18 名（前年度 17 名）

・ 利用延べ人数　136 名（前年度 141 名）

ウ　生活困窮者支援

日常生活や就労、経済上の課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方へ、光熱水費、転居費用、食糧費、燃料費等の生活支援を行いました。

・ 支援人数　3 名

・ 支援総額　67,134 円

エ　研修会の開催（役職員研修会）

期　日　令和 7 年 2 月 12 日

場　所　矢巾町保健福祉交流センターさわやかハウス

参加者　23 名（各法人役職員）

内　容

矢巾町長及び矢巾町職員を講師に、矢巾町の福祉に関する現状と展望や行政計

画、今後の課題などを知り、生活支援 NW の取り組みの振り返りと、今後の地域福祉向上に向けた取り組みについて検討しました。

⑩ 社会福祉法人岩手県共同募金会矢巾町共同募金委員会

関係会議（運営委員会、審査委員会、監査会等）を開催し、適正な管理運営を行いました。

(4)　コミュニティ食堂設置の働きかけと町内ネットワークの構築

町内でコミュニティ食堂（こども食堂）を開催している関係者（Cozy Place、NPO 法人ムーヴメント）に、ネットワークの構築について打診し、令和 7 年度以降の連携について情報共有を行いました。

(5)　児童館の健全育成事業

(6)　地域子育て支援拠点事業「うさちゃんのへや（児童館型）」の運営

(7)　居宅介護支援事業所の運営

2　相談支援活動の充実と強化

(1)　属性を問わない相談支援（ふくし相談窓口）

(2)　暮らしの専門相談所の運営

弁護士、司法書士、行政相談委員、人権擁護委員などが専門性を生かした相談事業を行いました。

相談種別	開催日	開催時間	相談員	相談件数
人権相談	第 1 金曜日	13：00～16：00	人権擁護委員	2
法律相談	第 2 金曜日	10：00～15：00	弁護士	72
行政相談	第 3 金曜日	9：00～12：00	行政相談委員	12
登記・相続	6/18・10/15・2/18	13：00～16：00	司法書士	11
心配ごと	年 4 回	13：00～16：00	民生委員	1

(3)　関係機関との連携による相談事業及び会議

多機関と連携を図りながら、様々な理由で生活に困りごとのある方の相談、必要な支援を行いました。

① いわて県央生活支援相談室（岩手県社会福祉協議会）

岩手県社会福祉協議会と連携し、生活困窮者自立支援法に基づき設置された暮らしの相談窓口として、必要な相談事業を行いました。

・ 令和 6 年度新規相談　47 件

・ プラン（新規、再プラン）　13 件

・ 矢巾町生活困窮者自立支援調整会議　10 回

② 生活福祉資金貸付事業（岩手県社会福祉協議会）

貸付相談員を 1 名配置し、他の貸付制度を利用できない低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯へ、資金の貸付と必要な相談事業を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付制度について、様々な事情から償還が困難な世帯や住民税非課税世帯等には、猶予や免除の申請を案内する等、継続的な相談支援を行いました。

・ 相談件数　延べ 178 件（新規相談 83 件、貸付中のケースに関する相談 95 件）

・ コロナ特例小口償還免除 53 件・コロナ特例償還完了 26 件

・ 令和 6 年度貸付け状況

資金の種類	件数	決定金額	備　　考
総合支援資金	0 件	0 円	
福祉資金　福祉費	1 件	60,000 円	ウインドーエアコン
福祉資金　緊急小口資金	1 件	40,000 円	初任給つなぎ
教育支援資金　教育支援費	0 件	0 円	
教育支援資金　就学支度費	1 件	490,000 円	入学金等
合　計	3 件	590,000 円	

・償還完了 5 件

③ 矢巾町個別支援会議

④ ふくし連絡調整会議

矢巾町役場の福祉関係課（福祉課、健康長寿課、こども家庭課）と、町内の福祉情報や事業等について情報共有を行いました。

(4)　SOS を出しやすい環境づくりとアウトリーチ

① 公式 LINE によるチャット相談

社会福祉協議会を身近に感じ、アクセスしやすい窓口となることを目的として公式 LINE アカウントを開設し、各種情報発信を行うとともに、個別相談等に対応しました。

・ 公式 LINE 登録者数　303 名（令和 6 年度末）

・ 主なチャット内容（生活相談、事業の申込み、ボランティアについて）

② 相談者や事業利用者への公式 LINE 登録促進

基本目標２　住民参加による地域福祉活動の推進

地域福祉活動の推進のためには住民参加による活動が不可欠です。

地域ごとに「地域の居場所」や「日常生活たすけあい隊」の結成を働きかけるとともに、福祉イベントの開催による福祉意識の醸成などを通じて、住民が地域福祉活動に参加しやすい環境を整え、住民の「やってみたい」を形にする支援を行いました。

さらに、ボランティアの協力のもと、必要な生活支援サービスを行いました。

１　社会参加活動の推進

(1)　日常生活たすけあい隊事業の推進

地域や団体ごとに結成し、登録隊員が地域の困りごとを解決する「日常生活たすけあい隊」の結成や活動を推進しました。

①　日常生活たすけあい隊総数　111 名（前年度 100 名）

8 単位老人クラブ 66 名、傾聴ボランティア 9 名、ふれあい弁当ボランティア 23 名、声の広報ボランティア 5 名、おでかけ送迎サービスボランティア 8 名

②　ありがっと賞交付数　79 枚（前年度 89 枚）

(2)　支え合いマップづくりの推進

(3)　こびりっこサロン等多様な「地域の居場所」の推進

(4)　福祉イベントの開催

①　第 43 回矢巾町ふれあい広場～みんなで創ろう☆すてきなやはば～

ステージ発表を中心に、会場内に飲食物販売コーナーや縁日コーナーを設置、抽選会を行うなど、コロナ禍で減ってしまった社会参加や自己実現の場として、誰もが安心して暮らせるやさしい町づくりを目指し開催しました。

期　　日　令和 6 年 10 月 5 日

場　　所　田園ホール

参 加 者　約 500 名

内　　容

ア　矢巾町社会福祉協議会会長表彰

・ 長年にわたり地域での福祉活動やボランティア活動に功績のあった方　13 名

・ 「こんなやさしい町が好き こども川柳」の入賞（最優秀・優秀）児童　8 名

児童生徒の思いを川柳にすることで、感謝ややさしさの気持ちを育むことを目的に、「子ども川柳」を募集し、町内 2 小学校及び矢巾中学校より 264 名 452 句の川柳が寄せられました。

イ　ステージ発表

・ 団体によるステージ（社会福祉法人吉祥会北高田こども園、矢巾町老人クラブ連合会女性部会、アカペラサークル Vocco、シンガーソングライター佐々木優斗、東北グレイス・ロード、岩手県民オーケストラ

・ きららパフォーマンス＆福祉のど自慢

・ 抽選会

ウ　会場内設置コーナー

・ ミニ縁日コーナー（輪投げ・射的）

・ 菓子、コーヒー、野菜、ジュース販売コーナー（社会福祉法人新生会あさあけの園、更生保護女性の会、社会福祉法人爽生会）

・ 野菜摂取量測定コーナー（矢巾町食生活改善推進員協議会）

・ 赤い羽根共同募金コーナー（ジュニアボランティア探検隊）

② バリアフリー映画会

日本語字幕、音声ガイド、手話通訳、音量や会場内照明の調整、母子室の利用案内、午前と午後で違う作品を上映する等、大人から子ども、視覚や聴覚に障がいを持つ方など誰もが不安なく映画を楽しんでもらえるように取り組みました。

期　　日　令和 6 年 7 月 27 日

場　　所　田園ホール

参 加 者　約 100 名

内　　容　午前の部「映画ドラえもんのび太と空の理想郷」

午後の部「君の名は。」

③ 金婚式

永年にわたり地域社会の発展に尽くされ、家庭の繁栄に努めてこられた結婚 50 周年を迎えたご夫婦を迎えて金婚式典・祝賀会を開催しました。

期　日　令和 6 年 11 月 22 日

場　所　盛岡グランドホテル

参加者　9 組 18 名

内　容　式典、祝賀会（個人・団体によるお祝いの余興、記念品の贈呈）

(5)　各種福祉団体事務と連携

2　地域のつながりと支え合いの仕組みづくり

(1)　日常生活たすけあい隊事業の推進

(2)　支え合いマップづくりの推進

(3)　こびりっこサロン等多様な「地域の居場所」の推進

(4)　コミュニティ食堂設置の働きかけと町内ネットワークの構築

(5)　生活支援サービスの実施

① ふれあい弁当（月 2 回）

一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、ボランティアによる配食サービス事業に取り組みました。

・ 利用登録者数　45 名（年 20 回、延べ 887 食提供）

・ 調理ボランティア　9 名（活動延べ人数 139 名）

・ 配達ボランティア 15 名（活動延べ人数 250 名）

② おでかけ送迎サービス（月 2 回まで）

移動に車いすが必要な方を対象に、スロープ付きで車いすに座ったまま乗車することのできる福祉車両を使用し、ボランティアによる送迎サービスを行いました。

・ 利用登録者数　5 名

・ 送迎ボランティア　8 名（活動延べ人数 36）

③ おつかいサービス事業（生活支援 NW）

④ 声の広報

毎月 1 回（年 12 回）町広報誌等をボランティアが朗読し、録音したテープ、CD を視覚障がい者等に配布しました。

・ 利用登録者数　4 名

・ 朗読ボランティア　5 名（活動延べ人数 48 名）

・ 配達ボランティア　4 名（活動延べ人数 48 名）

⑤ 一人暮らし高齢者の集い（ゆり花の集い）

一人暮らし高齢者の生きがいづくり、仲間づくりや孤立防止を目的として、参加者同士の談話や健康チェック、食事、レクリエーション、傾聴活動等を実施しました。

・ 開催回数　10 回

・ 利用延べ人数　63 名

⑥ おげんき見守りシステム

一人暮らし高齢者等が一日 1 回指定の電話番号に電話をかけ、音声案内に従い本人

の状況に応じた番号（元気→「1」、悪い→「3」など）を押すと、社会福祉協議会や登録した家族にメールで情報が伝わるシステムを活用し、安否確認を行いました。

利用登録者数　4名

⑦ ハローライト利用支援事業

一人暮らし高齢者等を対象に、通信機能を持つ電球「ハローライト」を活用したヤマト運輸の見守りサービス利用料を補助する事業について、広報誌等で情報発信を行いましたが、利用者はありませんでした。

⑧ ねたきり高齢者等理容サービス事業

在宅でねたきりの高齢者を対象に、衛生的な状態と心の健康を保つとともに、介護者の負担を軽減するため、町内理容店の協力を得て、理容店の訪問による理容サービスを実施しました。

利用者登録者数　4名

基本目標３　福祉教育の推進とボランティアの育成

ボランティアセンターの運営や情報発信を中心に、ボランティア交流会や養成講座の開催、若い世代がボランティア活動に触れる機会を設けて、ボランティア活動の充実と発展を図りました。

1　地域福祉を担う人材の確保

(1) ボランティア養成講座の開催（ボランティア入門講座）

ボランティア活動に興味のある方、ボランティアを始めたい方向けに研修会を開催し、地域に密着したボランティアの育成を行いました。特にも令和6年度は、地域の居場所づくりに興味がある方向けの内容とし、町内外で多様な居場所づくりを実践している方々に講義をお願いしました。また、居場所の見学・体験を通じて学びを深めました。

開催年月日	参加人数	内　　容
令和6年 11月12日	6名	実践発表 ・「ヨハクがつくるまちのタネ」 ㈱くらしすた不動産　川村　美沙樹　氏 ・　人に話を聴く技術～インタビューで私を知ろう～ ファシリテーター　NPO法人 点空社
11月14日	5名	視察研修 HATARAKUの取り組みについて 一般社団法人くらしの研究室　星　真土香　氏

11 月 18 日	6 名	実践発表 ・ カダルの考えるまちづくり・居場所づくり 一般社団法人カダル　藤岡　裕子　氏 ・ ワークショップ

(2) ボランティア交流会の開催「ボランティア交流会 2025」

期　日　令和 7 年 2 月 26 日

内　容

・ 救命講習

正しい応急手当の方法を学ぼう

講師：盛岡南消防署　矢巾分署職員

・ みんなで語ろう！

参加者　ボランティア 24 名

(3) ボランティア情報の発信

(4) 町内学校、企業、団体（一般社団法人、社会福祉法人）のボランティア活動への参加促進

(5) ボランティア活動に係るポイント制の推進（日常生活たすけあい隊など）

2　福祉教育の推進

(1) おもいやりの心育成事業

町内保育園、こども園、小・中学校、高等学校に社会福祉協力校（おもいやりの心育成事業）として協力をいただき、世代間交流や募金活動など、社会福祉やボランティア活動への理解を深め、地域社会の連帯意識と奉仕の心を育成するための活動に取り組みました。

保育園、こども園	9 園
小学校	4 校
中学校	2 校
高等学校	1 校

(2) 「こんなやさしい町がすき　こども川柳」の取り組み

(3) 学生ボランティア体験事業

① ジュニアボランティア探検隊

町内の小学生（4～6 年生）及び中学生が、社会福祉・ボランティア活動の重要性について、下記の体験を通じて理解を深められるよう取り組みました。

開催年月日	参加人数	内　　容
第１回 令和６年 ８月８日	小学生５名 中学生２名	Kurumi apartment(くるみアパートメント) ・まちなかリビングで「地域のいばしょ」について考えてみよう！（㈱くらしすた不動産　川村　美沙樹　氏） ・町の食材でカレーとデザートを作ろう
第２回 ９月７日	小学生５名 中学生２名	岩手医大矢巾キャンパス ・こんなときどうする？「通報のしかた」 ・ダンボールベッドってすごい！ （岩手医科大学学生サークル　IM2EDico（アイメディコ））
第３回 10 月７日	小学生４名 中学生２名	田園ホール 「第 43 回矢巾町ふれあい広場」 ・開会閉会宣言 ・赤い羽根共同募金 PR 活動（募金額 17,508 円）

② 小学生福祉体験講座（キャップハンディ体験）

障がい者や高齢者の方々への理解を深め、ボランティア活動を身近に感じることができるよう、各小学校と協力して白杖体験や車イス体験といったキャップハンディ体験を実施しました。

期　日　令和６年９月 11 日（煙山小学校４年生）、12 月４日（徳田小学校４年生）、
　　令和７年２月５日（矢巾東小学校４年生）

講　師　鍼灸師　村上　直人　氏（白杖体験、視覚障がいについての講話）
　　社会福祉協議会職員（車いす体験）

３　ボランティアセンター機能の充実

(1) ボランティアコーディネーターによる活動相談・登録・連絡調整・派遣

ボランティア登録者数　13 団体（333 名）、個人 12 名

(2) ボランティア保険への加入促進

(3) 各種ボランティア講座やセミナーなどの情報提供

(4) 災害ボランティアセンターの円滑な運営

① 町災害対策本部との連携

令和７年９月 15 日実施の矢巾町防災訓練において、災害ボランティアセンターについてのパネルを展示し、来場者に対して展示の解説を行いました。

参加者　社会福祉協議会職員２名

② 災害時における相互支援体制による円滑な運営（矢巾町、県央地区社協連絡協議会、

盛岡青年会議所）

③ 災害ボランティアの適切な連絡調整、派遣

④ 災害ボランティアセンター運営に係る職員派遣

令和６年７月山形県酒田市大雨災害に伴い、令和６年９月１日～5 日の 5 日間、酒田市災害ボランティアセンターに職員１名を派遣しました。

基本目標４　自立や社会参加に向けた支援の充実

多様な生活に困りごとを抱えた方や世帯に対し、社会参加する場の提供や各種相談事業、生活支援事業、権利擁護事業など、自立に向けた支援を行いました。

また、必要な支援が受けられるよう各種媒体による情報発信に努めました。

1　相談支援活動の充実と強化

2　多機関との連携による社会参加と生活支援

（1）ふくしのお仕事体験事業（生活支援 NW）

（2）フリースペース

（3）生活困窮者世帯等への生活支援事業

① フードパントリー事業

様々な事情から経済的に困りごとのある子育て世帯を対象とし、無料で食料品や日用品を配布しました。提供する食料及び日用品は、個人やライオンズクラブ、農業法人サンやはば、JA いわて中央矢巾地域青年部、町商工会青年部、矢巾町更生保護女性の会等の団体の皆様からの寄付により実施しました。

・ 令和６年 12 月 14 日　３世帯

・ 令和７年３月 15 日　　４世帯

② フードドライブ&サニタリードライブ事業

町民から食料品の寄付をいただき、フードドライブに取り組みました。また、様々な事情でサニタリー用品（生理用品など）の購入が難しい方々に対し、無料で配布を行うサニタリードライブに取り組みました。

食料品はフードパントリー事業（再掲）や、フードバンク岩手を通じて県内の必要とされる世帯へ届けられ、サニタリー用品については、61 件の寄付があり、延べ 56 件提供することができました。

③ 歳末たすけあい募金「たんぽぽ募金」配分事業

町民の皆様から寄せられた善意の募金を、民生児童委員との協働により、支援を必要

とする方々に届け、安心して新しい年を迎えることができるよう支援を行いました。

【世帯数・金額】

種別	件数（世帯・団体）	金額
高齢者世帯	63 世帯	441,000 円
障がい者世帯	81 世帯	567,000 円
ひとり親世帯	55 世帯	592,000 円
その他	12 世帯	84,000 円
歳末福祉事業	2 団体	20,000 円
合　　計	213 件	1,704,000 円

④ 生活困窮者自立支援事業（岩手県社会福祉協議会）

⑤ 生活福祉資金貸付事業（岩手県社会福祉協議会）

⑥ たすけあい金庫貸付事業

緊急かつ一時的に生活資金が必要な方に対し、生活維持と安定を図ることができるよう貸付を行いました。また、1 年以上償還が滞っている方に対して督促を行いました。

ア　令和 6 年度の状況

貸付け件数	2 件	84,000 円
償還件数	3 件	11,000 円

イ　貸付け残額（令和 6 年度末時点）

貸付け総件数と残額	27 件	1,132,910 円

⑦ 生活困窮者支援（生活支援 NW）

3　広報活動の充実

(1) 各種媒体での情報発信

① 広報誌「やはばのふくし」

・ 第 152 号　令和 6 年 6 月 1 日発行

・ 第 153 号　令和 6 年 10 月 1 日発行

・ 第 154 号　令和 7 年 2 月 1 日発行

② 矢巾町広報誌「広報やはば」における社会福祉協議会コーナー

③ ホームページ

④ 公式 LINE

（2）社会福祉協議会「福祉のサービス」パンフレットの更新と全戸配布

4　権利擁護による生活支援

（1）日常生活自立支援事業（盛岡市社会福祉協議会）の普及啓発

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが、自立した社会生活を送ることができるように福祉サービス利用の援助を行い、利用者の権利擁護に資することを目的として、岩手県社会福祉協議会が実施主体となり、基幹社協である盛岡市社会福祉協議会と協力して事業を行いました。事業の具体的なサービスにあたっては、1名の支援員を配置して支援を行いました。また、広報誌「やはばのふくし」にて、普及啓発に努めました。

利用登録者数　4名

（2）成年後見制度出張相談会の開催（年2回）

成年後見制度の普及啓発のため、盛岡広域成年後見センターによる出張相談会を年2回開催しました。

開催日・件数　令和6年8月30日・2件、令和7年1月30日・1件

（3）障がい者不利益相談窓口（岩手県社会福祉協議会）の設置

障がい者に対する誤解、偏見、理解の不足等に起因する不利益な取扱いを解消するため、不利益な取扱いに関する相談に応じる受付窓口を設置しました。（相談件数0件）

基本目標5　法人経営管理の強化

社会福祉法人としての基本姿勢を明確にし、公益的、公共的に信頼性の高い法人運営を行うとともに、社会福祉協議会会員の加入促進や赤い羽根共同募金運動推進など、財政基盤の強化を図りました。

また、公的機関とともに地縁を活かして福祉人材を確保し、役職員研修や資格取得支援などを通じて、人材の定着と育成を図りました。

1　人権の尊重

（1）個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）の周知徹底

（2）利用者や家族の意見要望の把握

①　苦情解決委員会の開催

期　　日　令和6年7月10日

出席委員　星川範男委員、久慈妙子委員、川村利津子委員

出席職員　佐藤由子事務局長

② 苦情受付状況について

受付苦情件数　5 件（社会福祉協議会 1 件、児童館 4 件）

事故報告件数　7 件（社会福祉協議会 1 件、児童館 6 件）

※令和 5 年 7 月～令和 6 年 7 月委員会開催まで

(3) コンプライアンス（法令等遵守）の徹底

2　福祉人材の確保と定着

(1) 福祉人材の確保

① ハローワーク及び福祉人材センターなどとの連携強化

② 地縁を活かした人材の確保

(2) 福祉人材の定着と育成

① 役職員研修の実施

期　日　令和 7 年 2 月 27 日

参加者　38 名（理事 9 名、監事 2 名、評議員 11 名、職員 16 名）

内　容

・ レクリエーション

・ 講話　誰もがウェルビーイングになる学校づくり

～不登校と要支援の生徒たちのために～

講師　学校法人北日本高等学院星北高等学園　校長　田中耕之助　氏

② 関係機関の研修への積極的な参加

期日	研修・委員会名	参加人数
令和 6 年 4 月 18 日	県央地区社協連絡協議会総会	3 名
令和 6 年 5 月 30 日	県内市町村社協災害対応初動チーム員研修会	1 名
令和 6 年 6 月 20～21 日	生活福祉資金貸付事業担当職員研修	1 名
令和 6 年 6 月 21 日	地域づくりと居場所のチカラを考える協働実践研修会	1 名
令和 6 年 6 月 21 日	岩手県ボランティア団体連絡協議会総会	1 名
令和 6 年 6 月 28 日	第 1 回矢巾町地域福祉推進審議会	3 名
令和 6 年 7 月 5 日	岩手県生活支援体制運営研修	2 名
令和 6 年 7 月 12 日	地域防災対応力強化研修	1 名
令和 6 年 7 月 18 日	共同募金会計システム研修会	1 名

令和 6 年 7 月 26 日	第 1 回市町村共同募金委員会職員研修会	1 名
令和 6 年 7 月 31 日	重層的支援体制整備事業研修会	1 名
令和 6 年 8 月 1 日	県央地区社協連絡協議会職員研修会	2 名
令和 6 年 8 月 1 日	県央地区社協連絡協議会市町村域ネットワーク連絡会議	2 名
令和 6 年 8 月 21 日	日常生活自立支援事業専門員研修会	1 名
令和 6 年 8 月 30 日	県央地区社協連絡協議会災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練	1 名
令和 6 年 9 月 12～13 日	県央地区社協連絡協議会先進地研修	1 名
令和 6 年 10 月 15 日	第 1 回福祉×まちづくりフォーラム	5 名
令和 6 年 11 月 13 日	第 77 回岩手県社会福祉大会	3 名
令和 6 年 11 月 25 日	消費者見守り研修	1 名
令和 6 年 11 月 30 日	矢巾町教育振興運動推進委員会・矢巾町子ども会育成会連合会合同研修会	1 名
令和 6 年 12 月 10 日	第 2 回市町村共同募金委員会職員研修会	1 名
令和 7 年 1 月 16 日	社会福祉と動物愛護を考える研修会	1 名
令和 7 年 2 月 4 日	第 2 回福祉×まちづくりフォーラム	3 名
令和 7 年 2 月 26 日	第 2 回矢巾町地域福祉推進審議会	5 名
令和 7 年 1 月 31 日	ひとり親家庭等サポートネットワーク会議	1 名
令和 7 年 3 月 24 日	市町村社会福祉協議会部会総会	1 名

③資格取得支援

3　透明性のある組織運営

（1）会長・副会長会議の開催

開催年月日	出席者数	議　題
第 1 回 令和 6 年 8 月 27 日	会長 副会長	・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会下半期事業について ・社会福祉協議会会長被表彰者について（審査会） ・子ども川柳選考について
第 2 回 令和 7 年 3 月 13 日	会長 副会長	・役員、評議員構成について ・児童館職員募集について

(2) 理事会及び評議員会の開催

① 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	議　題
第1回 令和6年 5月20日	理事11名 監事1名	・令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認について ・令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算の承認について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会定款の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会専決及び代決に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会理事候補者の推薦について ・社会福祉法人矢巾町釈迦福祉協議会監事候補者の推薦について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第1回評議員選任・解任委員会の招集について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第1回評議員会の招集について
第2回 12月17日	理事11名 監事2名	・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会福祉基金規則の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会福祉助成事業実施要領の廃止について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会補助金交付規則の廃止について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会心配ごと相談所運営規程の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会心配ごと相談所運営要綱の廃止について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会生活福祉資金貸付調査委員会規程の廃止について

		・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の廃止について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会精神障害者居宅生活支援事業利用料徴収要綱の廃止について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会生きがい対応型デイサービス事業運営規程の廃止について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会介護福祉職給与規程の廃止について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
第3回 令和7年 3月3日	理事11名 監事2名	・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第1号（案）について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会役員賠償責任保険契約について ・令和7年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画（案）について ・令和7年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出予算（案）について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会福祉団体育成事業補助金交付要綱の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第2回評議員会の招集について

② 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	議　題
第1回 令和6年 6月10日	評議員18名 理事3名 監事2名	・令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認について ・令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算の承について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会定款の一部改正について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会理事の選任について ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会監事の選任について
第2回 令和7年 3月13日	評議員18名 理事3名 監事1名	・令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第1号（案）について ・令和 7 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画（案）について ・令和7年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出予算(案）について

(3) 定期監査会の開催

開催年月日	出席者数	議　題
第1回 令和6年 4月23日	監事2名	・令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告について 社会福祉協議会、児童館、居宅介護支援事業所、生きがい対応型デイサービス、こびりっこサロン事業 ・令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算書類について ・社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業 ・令和5年度寄付者の状況 ・令和5年度福祉基金積立金の状況 ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会預金残高証明書（令和6年3月31日現在） ・社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会運営点検表
第2回 7月24日	監事3名	・令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、賃借対照表、予算執行状況について ・社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業
第3回 10月23日	監事3名	・令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、貸借対照表、予算執行状況について ・社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業
第4回 令和7年 1月22日	監事3名	・令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、貸借対照表、予算執行状況について ・社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

期　日　令和6年5月24日

議　題　社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員1名の選任について

(5) 自主財源の確保

① 社会福祉協議会会費

ア　世帯会費の納入結果

令和6年5月から、各行政区のコミュニティ会長の協力を得て世帯会員の会費納入運動を行いました。また、その際には「矢巾町社会福祉協議会（しゃきょう）の福祉のサービス」パンフレットを配付しました。

・　43行政区 11,220世帯

・　6,153,000円（前年度6,201,000円）

イ　法人賛助会費の納入結果

令和 6 年 8 月から、法人賛助会員の募集と会費納入運動を行いました。募集の際には「矢巾町社会福祉協議会（しゃきょう）の福祉のサービス」パンフレットを配付し、会費納入のあった事業所は「やはばのふくし」及びホームページに掲載しました。

・　町内外事業所 197 社（前年度 204 社）

・　600,000 円（前年度 603,000 円）

ウ　個人・団体賛助会員の呼びかけ

個人や福祉団体に対し、賛助会員の募集と会費納入運動を行いました。

・　個人 3 名 16,000 円

・　5 団体 29,000 円

② 赤い羽根共同募金運動の推進

ア　赤い羽根共同募金

目　標　額　5,000,000 円

実　績　額　3,730,463 円

目標達成率　74.6%

募金種別	募金額（円）	協力機関等
戸　別　募　金	3,033,600	町内各行政区
法　人　募　金	500,000	町内事業所
学　校　募　金	61,760	町内各こども園、保育園、小学校、高等学校、高等専修学校、大学、支援学校
職　域　募　金	13,085	矢巾町役場（関係機関含む）、社会福祉協議会、煙山保育園
イベント募金	45,508	シニアマレットゴルフ大会、チャリティーゲートボール大会、ふれあい広場
その他の募金	76,510	町内募金箱、赤い羽根自販機、個人募金
合　　計	3,730,463	

イ　歳末たすけあい募金

目　標　額　2,500,000 円

実　績　額　2,493,470 円

目標達成率　99.7%

募金種別	募金額（円）	協力機関等
戸　別　募　金	2,407,200	町内各行政区

職　域　募　金	10,051	町内事業所
イベント募金	67,772	矢巾町連合婦人会、矢巾中央幼稚園保育園父母会
その他の募金	5,747	矢巾町ともしび会、個人募金、Yahoo ネット募金
合　　計	2,493,470	

③ 福祉基金の活用と充実

財政基盤を確立し、安定した財源の確保による地域福祉活動の展開を目指して、福祉基金の充実を図りました。

・ 令和 6 年度新規積立金　　2,560,141 円（寄付 13 件）

・ 令和 6 年度取崩金　　2,636,000 円

・ 現在の福祉基金（R7.3.31）　49,695,814 円

（7）矢巾町地域福祉活動計画策定委員会（策定委員 11 名）

① 開催日　令和 6 年 7 月 17 日、10 月 29 日、令和 7 年 1 月 29 日、2 月 21 日

② こんなやさしい町がすき～YAHABA しゃべり場～

開催日　令和 6 年 9 月 26 日

参加者　17 名

内　容

・ゲームで体感！支え合うまちづくり

・こんなやさしい町がすき～こども川柳～紹介

・YAHABA しゃべり場　まちへの想いをしゃべろう、聴こう